



みみだより

松江ろう学校 研究部

No. R5-1 2023. 5.

今年度も『みみだより』では、補聴器等の機器に関する情報や、聴覚障がいのある子どもたちと
かかわる上で役立つ、みみよりの情報などを提供していきたいと思えます。

補聴器・人工内耳の管理について

補聴器・人工内耳は繊細な精密機械です。故障を予防し、長く活躍してもらうためには日頃の手
入れが大切です。＊昨年度もお伝えしましたが、大切なことなのでもう一度お伝えします！

①補聴器・人工内耳の汗対策！

汗は補聴器・人工内耳の大敵です。水分が内部に入ると故障の原因になります。

対策1：汗をふき取る

汗をかいた後は、耳の後ろの汗をふく。
補聴器・人工内耳についた汗を乾いた布でふく。
電池もふくとよい。



校内の4カ所に補聴器・
人工内耳用の乾燥機を設
置しています。休み時間
等に使用できます。

対策2：乾燥させる

使わないときは乾燥ケースに入れて保管する。
＊電池は取り出し、電池ドアを開けたままにする。
＊乾燥剤の使用期限をチェックする。



対策3：カバーを使う

＊布のカバーの場合、カバーがぬれたら、外すか乾いたカバーに替える。

②補聴器・人工内耳のお手入れ

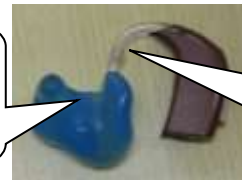
- 本体：乾いた布で汚れ等をふき取る。
- イヤモールド

- ・表面の汚れはティッシュ等でふき取る。
- ・イヤモールドの中は、綿棒や歯間ブラシ、ティッシュをこよりにしたものを使って汚れや水分を取りのぞく。
- ・定期的に水洗いをする。

水洗い後は、チューブの中にたまった水をすべて吹き飛ばし、まだ残っている場合は、綿棒やティッシュをこよりにしたものを使って取り除く。表面はタオル等でふき、しっかりと自然乾燥させる。

◇イヤモールドのチェック

裂けていないか？
根元がくるくる回らないか？



◇チューブのチェック

硬くなっていないか？
変色や汚れはないか？

③補聴器・人工内耳の電池について ＊人工内耳は充電電池を使用する場合もある。

- ・電池は補聴器専用電池（空気亜鉛電池）を使用する。
- ・空気電池はシールをはがすと放電し、使わなくても消耗するので、使わない時はシールを貼るなどして放電を防ぐ。
- ・使用済電池は、セロハンテープなどで全体を貼り絶縁し、電気店等に設置された回収箱に捨てる。



心理・発達検査等の実施について 支援部よりお知らせ

本校では、毎年、保護者の方の了解を得て、対象学年の幼児・児童・生徒に対して（対象学年以外でも必要に応じて）、心理・発達検査などの検査を行っています。

1. 心理・発達検査とは

幼児児童生徒の心身の発達や認知スタイルの状況を知るための、情報収集・分析（実態把握）の手段の1つです。本校では、幼児児童生徒に適した支援の方法や指導方法を考えることを目的として検査を行っています。

2. 検査対象学年・・・幼稚部5歳児、小学部2年・6年、中学部3年

※対象学年は目安ですので、実際に実施するかどうかについて学部内で検討し、実施する場合には、担任から保護者の方にお知らせします。

3. 検査の種類とその特徴

<新版 K 式発達検査2020> 対象：0歳～成人

「姿勢・運動」「認知・適応」「言語・社会」の3領域に分かれています。問題の難易度が年齢に応じて構成され、発達年齢を段階的に見ることができます。

<WISC-IV知能検査> 対象：5歳～16歳11ヶ月

全体的な「認知能力」が測定でき、「言語理解」「知覚推理」「ワーキングメモリ」「処理速度」の4つの指標得点の測定ができます。

◎検査結果の数値だけで子どもさんの実態を見るのではなく、検査時の様子や普段の生活状況、学習状況などに関連させて総合的に実態把握をし、生活面や学習面の支援について考えていきます。



★補聴器店来校日★

補聴器の調子が悪い、買い替えの相談をしたい、イヤモールドを作りたい等、是非ご相談ください！

<相談窓口> 石橋（小学部）

<時間> 13:00～

<場所> 聴能室

《東神実業 月1回 月曜日来校》

1学期の来校日

5月15日・6月12日・7月10日

